

お子さんの健康状態の把握と連絡の基準

令和4年4月6日 発行

ご家庭での様子 幼児センターとして登園を控えて欲しい症状	登園後の子どもの様子 幼児センター対応・保護者に連絡
発熱時 （発熱期間と同日の回復期間が必要） <ul style="list-style-type: none"> ・朝から37.5℃を超えた熱とともに元気がない。 ・食欲がなく、朝食、水分が摂れていない。 ・24時間以内に解熱剤を使用している。 ・24時間以内に38℃以上の熱が出ていた。 ※1歳以下の乳児の場合は平熱よりも1℃高いとき ※熱が下がって丸1日(24時間)経過してから登園可能	<ul style="list-style-type: none"> ・37.5℃以上の発熱。 ・元気がなくぐったりしている。 ※発熱については、あくまでも目安であり、個人の平熱に応じて、個別に判断する。
下痢 <ul style="list-style-type: none"> ・24時間以内に2回以上の水様便か4回以上の下痢をする。 ・食事や水分を摂ると下痢をする。 (1日に4回以上の下痢) ・下痢に伴い、体温がいつもより高めである。 ・顔色が悪くぐったりしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・下痢便が出ている時酸っぱいにおい・白っぽい便の時にはすぐに連絡する。 ・登園後3回下痢をした時。 ※3回に達していなくても症状に応じ連絡します。 ※ご家庭で下痢をした時は、必ず連絡してください。
嘔吐 <ul style="list-style-type: none"> ・24時間以内に2回以上の嘔吐がある。 ・嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである。 ・食欲がなく、顔色が悪い。 ・嘔吐のため、元気がない。ぐったりしている。 ※前日ご家庭で嘔吐をした時は、必ず連絡してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・大量に吐いた時 ・水を飲んでも吐いた時。 ※前日に嘔吐をした時にも連絡してください。
咳 （前日に発熱がなくても） <ul style="list-style-type: none"> ・夜間にしばしば咳のために起きる。 ・喘鳴や呼吸困難がある・呼吸が速い。 ・37.5℃以上の熱を伴っている。 ・元気がなく、顔色が悪い。 ・食欲がなく朝食・水分が摂れない。 ・少し動いただけで咳が出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・咳が止まらない時。 ・少し動いただけでも咳がでる時。 ・咳とともに嘔吐が数回ある時。
発しん <ul style="list-style-type: none"> ・発熱とともに発しんのある時。 ・今までになかった発しんが出て、感染症が疑われ、医師より登園を控えるように指示された時。 ・口内炎のため食事や水分が摂れない時。 ・とびひ顔等で患部を覆えない時。(浸出液が多く他児への感染のおそれがある時。) ・かゆみが強く手で患部を掻いてしまう時。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱とともに発疹がある時 ・手のひら、足の裏、口の中に発疹がある時。 ・流行中のものがあれば症状を見て判断する。

※ 薬について

- ・ 幼児センターでは、原則として投薬していません。当日の持ち込みは受付ておりません。(持病は除きます。)
- ・ 飲ませなければならぬ場合は、前日までに保育者にご相談ください。
- ・ 医者の方の指示によって飲みきらなければならぬ薬がある場合は飲みきり、お子さんの体調が良くなってから登園をお願いします。薬によっては、1日3回の薬を2回に変更してもらえることもあるそうです。

※ 体調不良の際には登園は控えてください。やむを得ず受診後に登園を希望の方は、症状によってお休みしていただく場合もありますので、事前にご相談ください。

※ 流行性の感染症について（インフルエンザ、感染症胃腸炎等）

- ・ ご家族が流行性の感染症にかかっている場合は、感染の拡大を防ぐため（小さいお子さんが重篤な症状を引き起こす可能性があるため）、お子さんの登園は極力控えていただきますようお願いいたします。
- ・ 感染症にかかった場合、再度病院を受診し医師から登園許可をもらってから登園をお願いします。

※ 上記以外にも、お子さんに体調不良の症状や訴えがありましたら、連絡をさせていただくことがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。